

2024（令和6）年度東北大学法科大学院入学試験 一般選抜（後期）
試験科目：民事法（商法）

第1問

株式会社が新株発行をした場合において、自ら株式の引受人となるのではなく、第三者の名義を借りて当該第三者名義で株式の引受を行い、当該第三者に自己の資金を供与して払込をさせた者がいた場合、当該人物（名義借用者）と、当該第三者（名義貸与者）のいずれが株主となるのか、簡潔に（5行程度）説明しなさい。

第2問

株式会社が事業を譲渡しようとする場合、一定の事業譲渡について株主総会特別決議による承認が必要とされている（会社法467条1項1号2号、同309条2項11号）のはなぜか、簡潔に（5行程度）説明しなさい。

第3問

会社法上の公開会社（取締役会設置会社かつ監査役設置会社）において、取締役の解任議案が株主総会において否決された場合、これに不満のある株主がこの株主総会決議の取消訴訟を提起すると、この訴訟の帰趨はどうか、簡潔に（5行程度）説明しなさい。

第4問

会社法上の非公開会社の取締役が退任したが、当該退任取締役に対する退職慰労金を支給する旨の株主総会決議がなされなかった場合、当該退任取締役は、会社に対して退職慰労金相当額の支払いを請求することができるかどうかについて、簡潔に（5行程度）説明しなさい。

第5問

新株発行無効の訴え（会社法828条1項2号）における無効事由として、判例上どのようなものが認められてきたのか、簡潔に（5行程度）説明しなさい。